

復興道路 三陸沿岸道路 釜石山田道路かわらばん



第68号 つなげよう! 命の道

発行：釜石山田道路安全協議会
 代表：東亜建設工業(株)
 編集・監修：国土交通省 南三陸国道事務所
 建設監督官(釜石山田道路担当)
 発行日：平成28年4月14日

大槌第2トンネル(仮称)が貫通しました

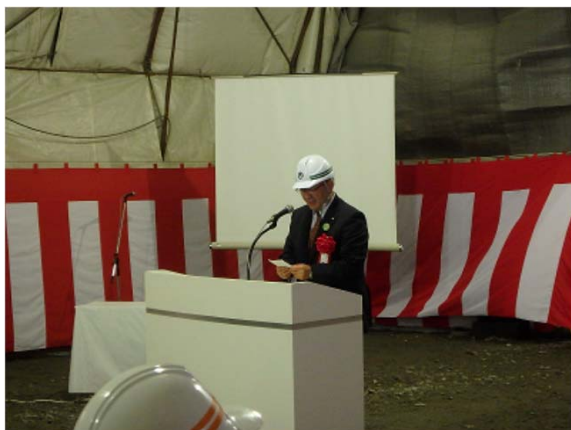
国道45号 大槌地区トンネル工事

現場担当 より



よるず まさき
(現場代理人：髙 正己)

平成28年2月26日、釜石山田道路(延長L=23km)区間で最長のトンネルとなる大槌第2トンネル(仮称)L=2,043mの貫通式典を行いました。
 式典には、大槌町長、岩手県沿岸広域振興局長、各自治会代表者等数多くの来賓者を迎え、総勢170名程度の方々にご参列いただき、貫通発破による点火、通り初め、鏡開きが行われ、大槌町立吉里吉里学園中学部の皆様を中心とした吉里吉里鹿子踊り保存会による「鹿子踊り」も披露されました。
 今後も覆工コンクリート等のトンネル作業は継続しますが、1日でも早く供用できるように、安全第一で工事を進めてまいります。



御来賓による祝辞(平野町長)



吉里吉里保存会による「鹿子踊り」披露



参加者全員による記念撮影

コンクリート高耐久化に取り組むトンネル・橋梁の現場見学を行いました

国道45号 小鎚地区トンネル工事 / 大沢第3橋外上部工工事



鶴住居第2トンネルでの見学状況

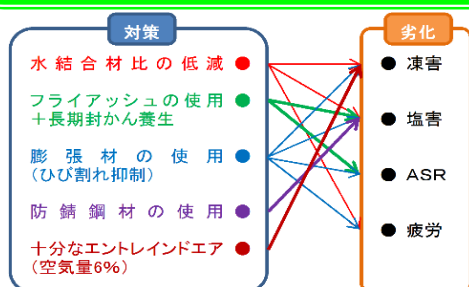


覆工コンクリートのビニルシート養生



小鎚第1トンネルでの見学状況

平成28年3月3日、コンクリートの高耐久化に取り組んでいる鶴住居第2トンネル、小鎚第1トンネル、大沢第3橋において、広島大や群馬県など17名の土木関係者が現場見学をしました。
 『コンクリートの高耐久化』とは、東北地方特有の寒さや凍結防止剤に含まれる塩分の影響に対して、コンクリート表面の緻密性の向上や、錆びにくい材料を使用してコンクリート構造物をできるだけ長持ちさせようとする取り組みで、現場での施工を踏まえ工夫しながら実施しています。
 今回見学したトンネルの現場では、現場で工夫してトンネル覆工コンクリート全面にビニルシートを被せて養生し、コンクリートの表面性能を向上させた取り組みや、打継ぎ目部分でのひび割れ防止の工夫などを見学しました。また、橋梁の現場では、東北地方で問題となる4つの劣化に対する「耐久性確保のための多重防護の考え方」(下図参照)により、高い耐久性を確保するための試験施工や現場での試行錯誤によって実施した様々な対策を見学しました。見学者からは、非常に参考になったとの感想をいただき、有意義な現場見学になりました。



(図) 耐久性確保のための多重防護の考え方



高耐久PC桁の工場製作状況



大沢第3橋での現場見学状況

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。 国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所 建設監督官(釜石山田道路担当)
 〒026-0301 釜石市鶴住居町第13地割1-4 TEL:0193-29-1625
 FAX:0193-29-1645



ホームページ URL: <http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html>
 事務所の問い合わせ、メールアドレス: minamisanriku@thr.mlit.go.jp

